

城峯

吉田中学校校歌

秩父の峯に おはようと 教員の庭の 窓ひらく

僕らは学ぶ 僕らは学ぶ ああ 吉田中学

やがては巣立つ この窓が 僕らの心のふるさとなる

学校教育目標

学び 鍛え 高め合う生徒

目指す学校像

吉田に学び、吉田を誇る 笑顔・感動・夢のある元気な学校



令和2年6月1日 第3号 秩父市立吉田中学校

ホームページ : <http://www.city-chichibu.ed.jp/yoshida/>

情けは人のためならず



校長 板倉 邦弘

この学校だより6月号も、これから学校再開になるか微妙なタイミングで作成しています。この学校だよりがお手元に届くときに、予定どおり学校が再開され、学校に元気な子供達の声が響いていることを願いつつ書いています。

去る5月20日、秩父市内のインナーファッションメーカーである島崎株式会社様から秩父市が寄贈を受けたマスクが、市内小・中学校へ届きました（写真で私が着けているマスクがそれです）。岩手県陸前高田市に工場を持つ島崎株式会社様が、東日本大震災の際に地元から支援をいただいた恩返しに、陸前高田市の自社工場で縫製したものだそうです。5月21・22日の分散登校の際に生徒・職員に配付しました。マスクについては、交通安全母の会様、西秩父商工会様からも寄贈を受けており、学校で活用させていただいております。また、緊急事態宣言が解除されない中、東京都内のある中華料理店が無料で弁当を配っているという報道がありました。店を営んでいる中国人の方は「日本は、武漢（中国）で感染が始まったときに、一番に支援をしてくれた。お店にも都や政府から支援金がいただける。日本に恩返しをしたいと思ってやっている。店の経営は厳しいが、できる限りやっていきたい。」と語っていました。学校総合体育大会や高校総体、甲子園の高校野球選手権大会が中止になるなど、私にとって暗いニュースばかり続く中で、感動の涙が目にあふれてしまいました。「情けは人のためならず」ということわざのとおり、情けは他者のためだけではなく、いずれ巡り巡って恩恵が返ってくるというのは本当なのだと改めて感じました。

さて、学校では5月11日から3分割の分散登校学習会、18日からは2分割の分散登校授業を行い、6月1日学校再開に向けて職員も生徒もウォーミングアップをしてきました。しかし、予定どおり学校が再開されたとしても、始まるのは前月号で書いたとおり「これまでとは違った学校生活」です。密閉・密接・密集をさけ、人との間には距離をとり、マスクを隔てて会話をし、お互いに触れ合いをさけ、給食も各自黙々と取る等……。本来の学校は、集団生活の中で人との触れ合いを大切に、直接の言葉で意見や情報のやりとりを効果的に使って知識や技術を習得し、心と体を鍛え社会性を身に付ける場です。その学校教育の「よさ」を、これからはどんな形で生かしていけるのか。失われた3ヶ月の学習の遅れを取り戻すことと合わせて、大きな課題となっています。

結びに、季節は夏へ向かっています。感染防止に加え熱中症予防も必要となってきます。学校が再開されても、これまで以上に感染防止に向けた取組と各自の健康管理が重要になります。お子さんの検温等にも引き続きご家庭のご協力をお願いします。

分散登校の様子

5月11日（月）の週は週1回の登校、5月18日（月）から5月末までは2週間で5回の登校が出来るよう、生徒を少人数に分けた分散登校を行いました。どの学年も集中して5時間の授業に臨むことができました。3年生希望者に自主学習の時間を設けましたが、半数近くの生徒が居残り勉強に励んでいました。



授業の様子①（1年生）



授業の様子②（2年生）



授業の様子③（3年生）



軽食タイム（パン、牛乳）



3年生自主学習

休憩時間には、外で体を動かす姿も見られました。



Zoomテストミーティングを行いました。

5月14日（木）は、インターネットを活用したコミュニケーション活動（Zoom）のテストミーティングを行いました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



6月の行事予定

1日	月	通常登校開始 特別日課（5日まで） 防災訓練 衣替え（前後1ヶ月移行期間）	20日	土	開校記念日
2日	火	あいさつ運動 生徒会専門委員会	23日	火	SC来校
4日	木	全校朝会	24日	水	埼玉県学力・学習状況調査 PTA企画委員会②
8日	月	3年生実力テスト	25日	木	補充学習
9日	火	SC来校	28日	日	英語検定
11日	木	学年朝会 補充学習 学校運営協議会			
18日	木	生徒朝会 補充学習			
19日	金	安全点検日			

※5月27日（水）現在の予定です。変更が生じた場合には「すぐメール」や「ホームページ」でお知らせします。